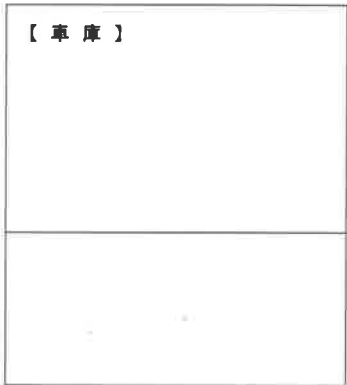


南信森林管理署庁舎給水配管盛替え工事

図面リスト

N o .	S H E E T T I T L E	S C A L E
給水設備		
M－0 1	現場案内図・工事概要	N0N
M－0 2	特記仕様書	N0N
M－0 3	配置図・既存配管図	1/100
M－0 4	給水配管図	1/100
M－0 5	給水配管詳細図	1/100
M－0 6	舗装撤去復旧図	1/100
M－0 7	既存給水配管撤去図	1/100

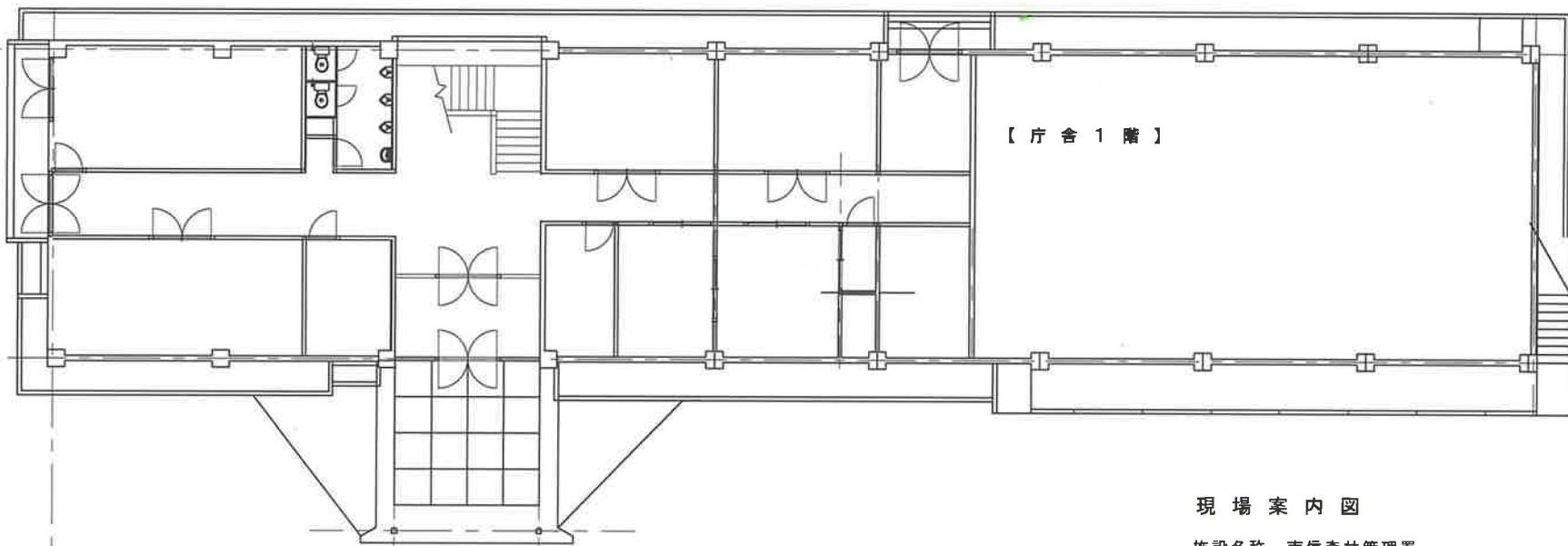
南信森林管理署



工事概要表

工事種目	工事科目	工事概要
機械設備工事	給排水設備改修工事	・既存の老朽化した給水配管を指示範囲にてやり替え
		・今後、不使用となる配管ルートプラグ止め
		・給水配管やり替えに伴う舗装の撤去復旧

【南信森林管理署】



施工条件

- 本工事は、南信森林管理署敷地内の工事となるため、速やかに仮設計画、工程等の施工計画を作成し施設担当者と協議すること。
- 本工事の施工にあたり、資材の搬出入は、近隣の学校の登下校時間帯は避けること。
特に中型、大型車両の搬出入時の際は、交通誘導員を配置する等の安全対策に留意すること。
別途、道路許可申請等が必要な場合は、事前に対応すること。
- 解体撤去工事、斫り作業等、騒音が発生する作業を行う際は、事前に施設担当者と協議を行い、承諾を得てから作業を行うこと。
- 居ながら工事の為、施設の行事等により、作業日や時間帯が制限される場合がある。
- 工事範囲を明確にし、関係車両と施設利用者との動線を、仮囲い等により分離すること。
- 施工は土日祝日を主とし、平日に作業を行う場合は施設担当者の許可を得て作業を行うこと。

現場案内図

施設名称 南信森林管理署
施設住所 長野県伊那市山寺1499-1



[illegible]

10. 保温・防露

共通仕様書第二編2. 1. 4. のうち断熱材、施工順序及び外装材は特記による。

イ. 配管

断熱材 ☐ フォームポリスチレン ☐ その他

外装材

イ) 屋内露出 ☐ 綿布 (保温断熱+鉄線+ $\frac{7813}{9021}$ ×原紙+綿布)
☐ $\frac{7813}{9021}$ × $\frac{7813}{9021}$ (保温断熱+鉄線+ $\frac{7813}{9021}$ ×原紙+ $\frac{7813}{9021}$ × $\frac{7813}{9021}$)
☐ その他

ロ) 天井内・パイプシャフト
☐ $\frac{7813}{9021}$ × $\frac{7813}{9021}$ (保温断熱+鉄線+ $\frac{7813}{9021}$ × $\frac{7813}{9021}$)
☐ アルミ箔ラミネート (アルミ箔付保温断熱+亀甲金網)
☐ その他

ハ) 床下及び階梁内
☐ 防水麻布 (保温断熱+鉄線+ $\frac{7813}{9021}$ × $\frac{7813}{9021}$ × $\frac{7813}{9021}$ × $\frac{7813}{9021}$)
☐ その他

11. 塗 装

イ) 保温上 ☐ 珪合ペイント仕上

ロ) 埋設 ☐ 防食ビニールテープ ☐ 土中 ☐ コンクリート内 $\frac{7813}{9021}$ × $\frac{7813}{9021}$ ニ重巻
☐ ペトラタム系防食テープ ☐ 土中 ☐ コンクリート内
☐ ジュートテープ挟付 ☐ 土中 ☐ コンクリート内

ハ) その他 ☐ アルミニウムペイント仕上 ☐ 珪合ペイント仕上

12. 配管 洗浄

○ 配管 ☐ 受水槽 ☐ 高梁水槽

イ) PCユニット工法又は同等の洗浄効果の有する方法による。

ロ) 洗浄時に水道法第4条第1項第1・4・5・6号及び残留塩素 について
水质検査を行うこと。 洗浄は知事登録業者とする。

13. そ の 他

防凍施工に充分に留意し、屋外露出配管及び外壁廻り配管、その他必要
箇所には凍結防止帯の施工をする。また配管頂部、給湯機廻り、器具廻
りの必要箇所には、吸気弁を設置する。

排水設備工事

1. 放 流 先

☐ 公共下水道 ☐ 河川 ☐ その他 ☐ トレンチによる浸透

2. 放 流 形 式

☐ 分流式下水道 ☐ 分流式下水道対応配管 (将来用) ☐ 合流式下水道

3. 排 水 方 式

☐ 集合管方式 ☐ 一般方式

4. 配 管

イ. 屋外配管 ☐ 塩化ビニル管 (V U) ☐ ヒューム管
☐ その他

ロ. 屋内配管

☐ 配管用素鋼管 (白)	雨水管、水抜ドレン管
☐ 塩化ビニライソ管鋼管 (白 黒)	
☐ 排水用鉄管	
☐ 塩化ビニル管 (V P)	1階床下排水管
☐ 耐火二層ビニル管 (V U)	汚水・雑排水管 (器具接続迄)

ハ) 通気管

☐ 塩化ビニル管 (V P)
☐ 耐火二層ビニル管 (V P)

5. 保温・防露

断熱材 ☐ グラスウール ☐ その他
(材料及び施工順序は給水設備に準ずる)

外装材

イ) 屋内露出 ☐ 綿布 ☐ アルミガラスクロス
☐ その他 ☐ 保温なし

ロ) 天井内・パイプシャフト
☐ アルミガラスクロス ☐ アルミ箔ラミネート
☐ その他 ☐ 保温なし

ハ) 床下及び階梁内
☐ 防水麻布 ☐ その他 ☐ 保温なし

6. 塗 装

イ) 保温上 ☐ 珪合ペイント仕上

ロ) 埋設 ☐ ☐ 土中 ☐ コンクリート内 $\frac{7813}{9021}$ × $\frac{7813}{9021}$ ニ重巻
☐ ペトラタム系防食テープ (☐ 土中 ☐ コンクリート内)
☐ ジュートテープ挟付 (☐ 土中 ☐ コンクリート内)

ハ) その他 ☐ アルミニウムペイント仕上 ☐ 珪合ペイント仕上

7. 排 水 樹

イ) 汚水・雑排水樹

☐ 丸型 ☐ 角型 ☐ 市販コンクリート管 ☐ 現場打

☐ 小口径塩ビ樹

8. そ の 他

ロ) 蓋 ☐ 鉄製鉄 ☐ 軽量 ☐ 耐重 ☐ 重量)

☐ コンクリート製 ☐ 図示

給湯設備工事

1. 給 湯 方 式

イ) 局所式 ☐ ガス湯沸器 ☐ 瞬間式 ☐ 貯湯式 ☐ 電気湯沸器
☐ TES方式

ロ) 中央式 ☐ 暖房併設 ☐ 給湯ポイラー ☐ 貯湯槽 ☐ 熱交換器
室内機器表による。

2. 給湯ポイラー

給湯ポイラーによる。

3. 配 管

○ 鋼管 ☐ O M ☐ L ☐ 被覆鋼管 ☐ O M ☐ L)
☐ その他 H T L P

伸縮継手 ☐ ベローズ複式 ☐ ベローズ単式

4. 保 温

イ) 配管 (材料及び施工順序は共通仕様書第二編2. 1. 4. の防露に準ずる)

断熱材 ☐ グラスウール ☐ その他

外装材

イ) 屋内露出 ☐ 綿布 ☐ アルミガラスクロス ☐ 保温なし
☐ その他

ロ) 天井内・パイプシャフト
☐ アルミガラスクロス ☐ アルミ箔ラミネート
☐ その他 ☐ 保温なし

ハ) 床下及び階梁内
☐ 防水麻布 ☐ その他 ☐ 保温なし

ロ) 機器 (貯湯槽・熱交換器・膨脹タンク)

断熱材 ☐ グラスウール ☐ その他

外装材 ☐ カラー亜鉛鉄板 ☐ アルミニウム板
☐ ステンレス鋼板

5. 塗 装

イ) 保温上 ☐ 珪合ペイント仕上

ロ) 耐熱塗装

ハ) その他 ☐ アルミニウムペイント仕上 ☐ 珪合ペイント仕上

6. 配管洗浄	○ 配管 ○ 貯送槽 ○ その他 (施工は給水設備に準ずる) 防凍施工に充分に留意し、屋外露出配管及び外壁廻り配管、その他必要
7. その他	

衛生器具設備工事	
----------	--

1. 衛生機器	国内製器具による。
2. 仕様種別	○ 標準品 ○ 寒冷地品
3. 彩色	○ 標準色 ○ 指定色 (現場打合せによる。)
4. 区画処理	○ 和風便器の下部は耐火カバーにて区画直通処理を行う。
5. その他	

消火設備工事	
--------	--

1. 消火種別	○ 屋内消火栓 ○ 屋外消火栓 ○ スプリンクラー ○ 連続送水管 ○ 消火釜 ○ 粉末 ○ 連続散水 ○ その他
2. 消火ポンプ	国内機器表による (消防庁認定品) 警報 消火水槽 ○ 満水 ○ 減水) 呼 水 槽 ○ 満水 ○ 減水)
3. 配 管	管種 ○ 配管用炭素鋼管 (白) ○ ポリエチレン外面被覆鋼管 ○ 硬質塩化ビニール外面被覆鋼管 ○ 圧力配管用炭素鋼管 (JIS S-G3454スケジューラ40以上) ○ その他
4. 保温・防露	断熱材 ○ グラスウール ○ その他 (材料及び施工順序は給水設備に準ずる) 外装材 イ) 屋内露出 ○ 織布 ○ アルミガラスクロス ○ その他 ○ 保温なし ロ) 天井内・パイプシャフト ○ アルミガラスクロス ○ アルミ落下押え ○ その他 ○ 保温なし ハ) 床下及び階案内 ○ 防水麻布 ○ その他 ○ 保温なし
5. 塗 装	イ) 保温上 銅合ペイント仕上 ロ) 埋設 ○ 防食ビニールテープ ○ 土中 ○ コンクリート内 ハ-フッソ二重塗り ○ ベトロタム系防食テープ ○ 土中 ○ コンクリート内 ○ ジュートテープ巻付 ○ 土中 ○ コンクリート内 ハ) その他 ○ アルミニウムペイント仕上 ○ 銅合ペイント仕上
6. その他	

ガス設備工事	
--------	--

1. 種類	○ 都市ガス ○ 液化石油ガス ○ 医療ガス ○ その他
2. 機器	国内機器表による。
3. 配管	○ 配管用炭素鋼管 (白) ○ 圧力配管用炭素鋼管 ○ ガス供給者指定管 ○ その他
4. 施工	土中埋設部 (○ P L P 鋼管 ○ 防食テープ ○ その他) 都市ガス ガス供給者の責任施工とする。 液化石油ガス 共通仕様書第6編第3章による。 医療ガス 厚生省医務局機械設備工事共通仕様書による。 その他 高圧ガス取締法の規定に基づく。
5. 塗装	○ 銅合ペイント ○ アルミニウムペイント
6. その他	

空調設備工事	
--------	--

1. 方式	○ 冷房 ○ 暖房										
2. 熱源機器	○ 温水ボイラー ○ 蒸気ボイラー ○ 冷水発生機 ○ 温風炉 ○ チーリングユニット ○ GHP ○ EHP ○ F F 暖房機 (○ ガス ○ 灯油) ○ T E S ○ その他										
3. 同上仕様	国内機器表による。容量等の表示、機器種の能力は原則として、表示された数値以上とする。										
4. 放熱器	○ バルブヒーター ○ コンベクター ○ ファンコンベクター ○ ファンコイルユニット ○ 電気ヒーター ○ その他										
5. 風導	イ) 方式 ○ 低速 ○ 高速 ○ その他 ロ) 工法 ○ アングル ○ 共振 ○ その他 ハ) 種別										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">種別</th><th style="width: 70%;">施工区分</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>亜鉛鉄板</td><td></td></tr> <tr><td>スパイラル</td><td></td></tr> <tr><td>塩ビ鋼板</td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> </tbody> </table>	種別	施工区分	亜鉛鉄板		スパイラル		塩ビ鋼板			
種別	施工区分										
亜鉛鉄板											
スパイラル											
塩ビ鋼板											
6. 配管	イ) 配管 ○ 配管用炭素鋼管 (○ 白 ○ 黒) ○ 水道用亜鉛鍍金鋼管 ○ 冷凍用被覆鋼管 ○ その他 ロ) 伸縮継手 ○ ペローズ式 (○ シングル ○ ダブル) ○ ボールジョイント ハ) 防震継手 ○ ステンレス製 ○ ゴム製										
7. 保温・防露	共通仕様書第2編2. 1. のうち断熱材料及び外装材は下記による。 イ) 配管 断熱材 ○ グラスウール ○ その他 外装材 イ) 屋内露出 ○ 織布 ○ アルミガラスクロス ○ その他 ○ 保温なし ロ) 天井内・パイプシャフト ○ アルミガラスクロス ○ アルミ落下押え ○ その他 ○ 保温なし ハ) 床下及び階案内 ○ 防水麻布 ○ その他 ○ 保温なし ニ. その他										

	ロ) ダクト 断熱材 ☐ グラスウール (☐ 24 K ☐ 32 K ☐ 40 K) 外装材 イ. 屋内露出 ☐ アルミガラスクロス ☐ カラー亜鉛鉄板 ☐ アルミニウム板 ☐ ステンレス鋼板 ☐ その他 ロ. 天井内・パイプシャフト ☐ アルミガラスクロス ☐ その他 ハ. その他 ハ) 機器 (熱交換器 膨張タンク 温水ヘッダー 蒸気ヘッダー) 断熱材 ☐ グラスウール (☐ 32 K ☐ 40 K) 外装材 ☐ カラー亜鉛鉄板 ☐ アルミニウム板 ☐ ステンレス鋼板 ☐ その他 二) 機器 (冷温水ヘッダー 冷水ヘッダー 冷温水タンク) 断熱材 ☐ グラスウール (☐ 32 K ☐ 40 K) 外装材 ☐ カラー亜鉛鉄板 ☐ アルミニウム板 ☐ ステンレス鋼板 ☐ その他 ホ) 煙導 断熱材 ☐ ロックウール 外装材 ☐ カラー亜鉛鉄板 ☐ ステンレス鋼板 ☐ アルミニウム板 ☐ その他														
8. 保燃濃度計 9. 燃量測定口 10. 風量測定口	☐ 取付ける ☐ 取けない ☐ 取付ける ☐ 取けない 取付個数 取付辺150mm未満1個、以上150mm増える毎に1個追加。 取付箇所 1. 特記した風量調整ダンパーの上流又は下流 2. 送排風機、空調機に近接した風導の部分 3. 外気取入風導の部分 4. その他指定部分														
11. チャンバー等	イ) 外壁に面するガラリに直接接けるチャンバー、ホッパーには排水を設ける。 ロ) アネモ型吸出口には下記の接続チャンバーを設ける。 a) ネック径200φ以下 400 x 400 x 250H b) ネック径200φを超えるもの 500 x 500 x 300H														
12. 制 気 口	イ) ユニバーサル型吸出口 ☐ アルミ製 ☐ 鋼板製 ロ) アネモ型吸出口 ☐ アルミ製 ☐ 鋼板製 ハ) 吸込口 ☐ アルミ製 ☐ 鋼板製 ニ) ガラリ ☐ アルミ製 ☐ 鋼板製														
13. 防煙ダンパ	イ) 復帰方式 ☐ 手動式 ☐ 遠隔自動 ロ) 日本建築センター防火性能評定委員会認定品とする。														
14. 弁 類	JIS5kg/cm ² とする。但し特記部分はJIS10kg/cm ² 。														
15. 温 度 計	図示による。(圧力計、流量計共)														
16. 消音内張り	イ) 施工法は共通仕様書の当該事項による。 ロ) 施工箇所は図示した風導及びチャンパー版とする。														
17. 塗 装	ハ) 使用材料 ☐ グラスウール (☐ 32 K ☐ 40 K) イ) 保温上 鋼合ペイント仕上 ロ) 埋設 ☐ 防食ビニールテープ (☐ 土中 ☐ コンクリート内) ○ ペトラトラン系防食テープ (☐ 土中 ☐ コンクリート内) ○ ジュートテープ焼付 (☐ 土中 ☐ コンクリート内)														
18. そ の 他	ハ) その他 ☐ アルミニウムペイント仕上 ☐ 鋼合ペイント仕上														
給 油 設 備 工 事															
1. 油 槽 形 式	☐ 地中埋設タンク ☐ 屋外タンク ☐ 屋内タンク ☐ ホームタンク														
2. 種 類	☐ A重油 ☐ B重油 ☐ 灯油														
3. 油量指示計	☐ 取付ける ☐ 取付けない														
4. 配 管	管種 ☐ 配管用炭素鋼管 (黒) ☐ ポリエチレン外面被覆鋼管 ☐ 鋼管 (☐ M ☐ L) ☐ 被覆鋼管 (☐ M ☐ L) ☐ その他														
5. そ の 他															
換 気 設 備 工 事															
1. 換 気 方 式	換気方式 ☐ 換気扇 ☐ ダクト方式機械換気														
2. 風 導	イ) 方式 ☐ 低速 ☐ 高速 ☐ その他 ロ) 工法 ☐ アングル ☐ 共板 ☐ その他 ハ) 種別 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <th style="width: 50%;">種 別</th><th style="width: 50%;">施工区分</th></tr> <tr> <td>亜 鉛 鉄 板</td><td></td></tr> <tr> <td>ス パ イ ラ ル</td><td>一般給排気ダクト</td></tr> <tr> <td>耐火ビニール管 (VP)</td><td></td></tr> <tr> <td>耐火二重ビニール管 (VFP)</td><td></td></tr> <tr> <td>ス テ ン レ ス</td><td></td></tr> <tr> <td> </td><td> </td></tr> </table>	種 別	施工区分	亜 鉛 鉄 板		ス パ イ ラ ル	一般給排気ダクト	耐火ビニール管 (VP)		耐火二重ビニール管 (VFP)		ス テ ン レ ス			
種 別	施工区分														
亜 鉛 鉄 板															
ス パ イ ラ ル	一般給排気ダクト														
耐火ビニール管 (VP)															
耐火二重ビニール管 (VFP)															
ス テ ン レ ス															
3. 換 気 機 器	図内機器表による。容量等の表示、機器種の能力は原則として、表示された数値以上とする。														
6. 排気フード	イ) 材質 ☐ ステンレス製 (☐ SUS-304 ☐ SUS-430) ロ) 厚さ mm ハ) 幕板 ☐ 本工事 (☐ SUS-304 ☐ SUS-430) ☐ 別建工事 ☐ なし														
7. 防雪フード	イ) 材質 ☐ ステンレス製 (☐ SUS-304 ☐ SUS-430) ロ) 厚さ 1 mm ☐ 1.2 mm														
8. 丸型フード	イ) 材質 ☐ ステンレス製 ☐ アルミ製 ロ) 採色 ☐ 標準色 ☐ 指定色焼付 (現場打合せによる。)														

断熱・防露

イ) 一般排気ダクトは外壁から2m以内は防露施工とする。
ロ) 給気ダクトはすべて防露施工とする。
ハ) 換気用耐火二層ビニール管は外壁から1m以上使用のこと。
ニ) 厨房排気ダクトはすべて防露施工とする。

仕様	厚mm	施 工 区 分
グラスウール	25	一般排気ダクト
〃	〃	給気ダクト
ロックウール	25	レンジ排気ダクト、湯沸器給排気筒
〃	50	同上 可燃物接触部分

10. 風量測定口
11. チャンパ等
12. 制 気 口
13. 防煙ダンバ
14. 弁 類
15. 温 度 計
16. 塗 装
17. そ の 他

冷暖房設備及び図示参照。
〃
〃
〃
〃
イ) 保温上 調合ペイント仕上
ロ) その他 ○ アルミニウムペイント仕上 ○ 調合ペイント仕上
〃
〃

自動制御設備工事

1. 制御方式 ○電気式 ○電子式 ○その他
2. 計測範囲 ○温度 ○湿度 ○その他
3. 計測箇所 図示による。
4. 計装機器 国内機器表による。
5. そ の 他

〃
〃
〃

排煙設備工事

1. 方 式 ○機械排煙 ○自然排煙
2. 風 導 ○亜鉛鉄板 ○普通銅板
3. 排 煙 口 イ) 形状 ○スリット型 ○スイング型
 ロ) 開放装置 ○手動 手動及び遠隔操作可能なもの
4. 断 熱 断熱材料 ○ロックウール板 ○1号 ○2号
 ○ロックウール帯 ○1号
 ○その他
5. 塗 装 イ) 保温上 調合ペイント仕上
 ロ) その他 ○ アルミニウムペイント仕上 ○ 調合ペイント仕上
6. そ の 他

〃
〃
〃

圧縮空気設備工事

1. 機器の種類 ○OSP ○DSP
2. フィルター ○エアフィルター ○オイルミストフィルター ○活性炭フィルター

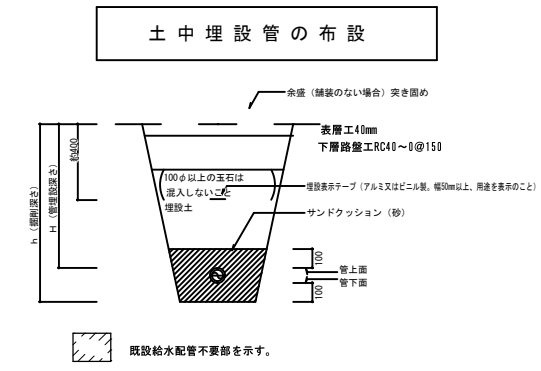
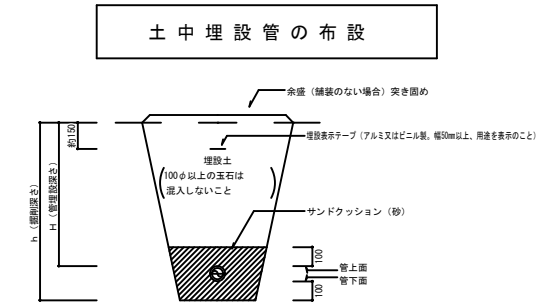
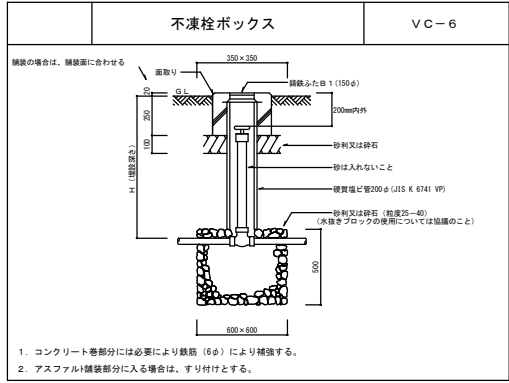
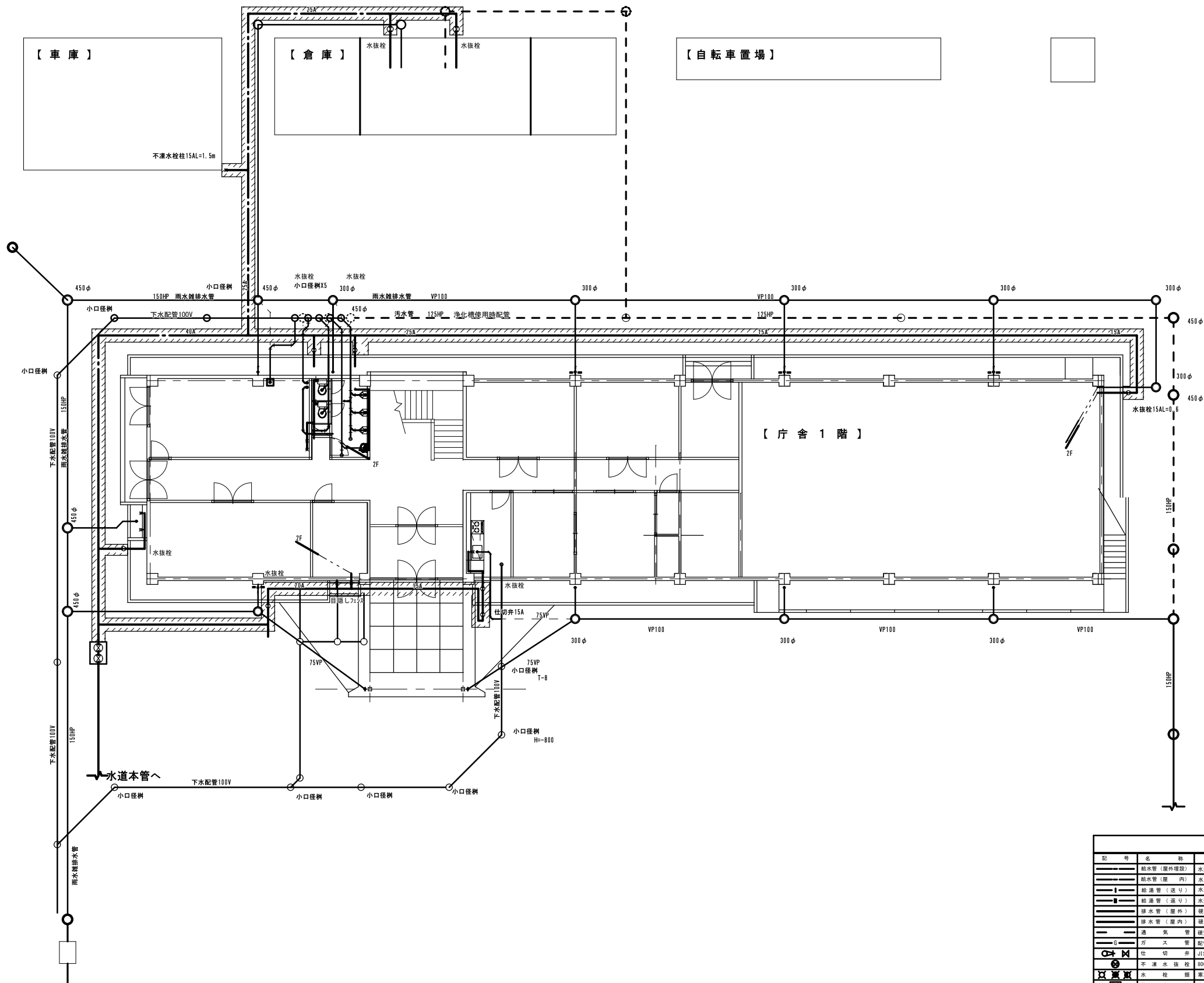
浄化槽設備工事

1. し尿浄化槽 型式 ○長時間ばっき方式 ○分離触媒ばっき方式 ○分離ばっき方式
 ○回転板接触方式 ○触媒ばっき方式
 ○RC製 ○FRP製 処理水量 m³/日
 ○処理人員 1000人 ○放流水水质BOD 2.0 ppm
 撤去範囲 GL-1000 処理槽内のろ材など

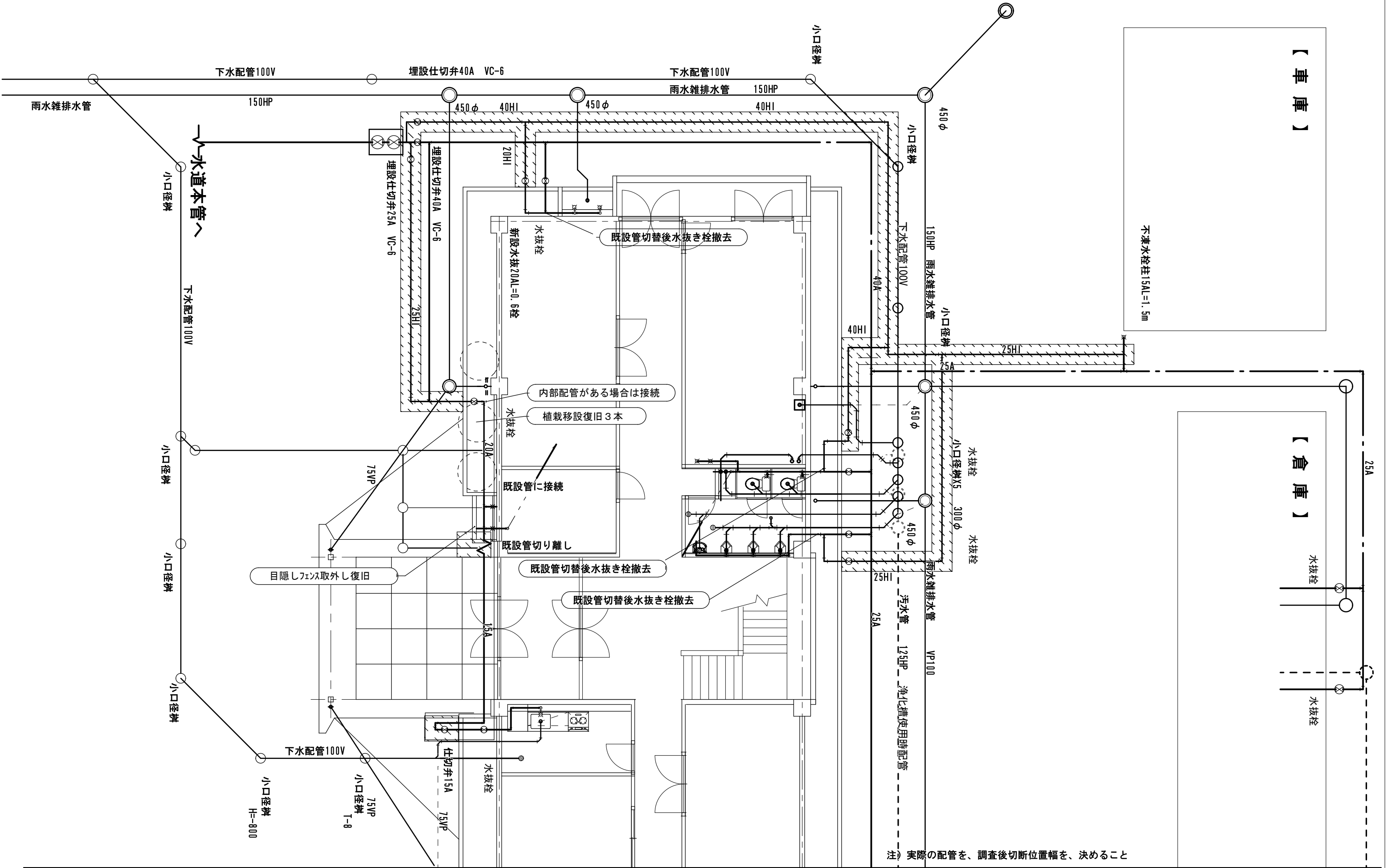
メーカーリスト

下記メーカー同等品他監督係員の承認したものとする。

機器名	指 定 製 造 所
給水用塩ビ配管	クボタケミックス 積水化学工業 アロン化成
不凍 水抜き栓	日邦バルブ 竹村製作所 前澤給装工業
衛 生 器 具	東陶機器 I N A X
F R P 製 水 槽	ブリジストン セキスイ
ホ ン 類	花原製作所 川本製作所
ガ ス 湯 沸 器	リンナイ ノーリツ パロマ
電 気 湯 沸 器	東陶機器 I N A X 日本イトミック
鍋 鉢 製 品	長谷川鋳工所 第一機材 他同等品
集 合 管 継 手	ベンカン 久保田鉄工 小島製作所
消 火 機 器	立亮電製作所 初田製作所 宮田工業
石 油 給 油 機	東陶機器 I N A X リンナイ
厨 房 機 器	サンクエーブ 他同等品
空 調 機	三菱電機 ダイキン工業 東洋製作所
G H P	三洋電機 ヤマハ ヤンマー
E H P	日立製作所 ダイキン工業 三菱電機
放 熱 器	ピーエス 昭和鉄工 森永エンジニアリング
送 排 風 機	三菱電機 松下電器産業 日立製作所 荏原製作所
換 気 風 扇	三菱電機 松下電器産業 他同等品
電気ヒーター	日本シーズ線 トヨホク 他同等品
石 油 暖 房 機	サンボット 三菱電機 コロナ 他同等品
自 動 制 御	山武 横河シヅノコンローラズ
特殊消火設備	日本ド'製作社 ニッタン ヤマトプロテック
し 尿 浄 化 槽	I N A X フジクリーン工業 ハマnetz



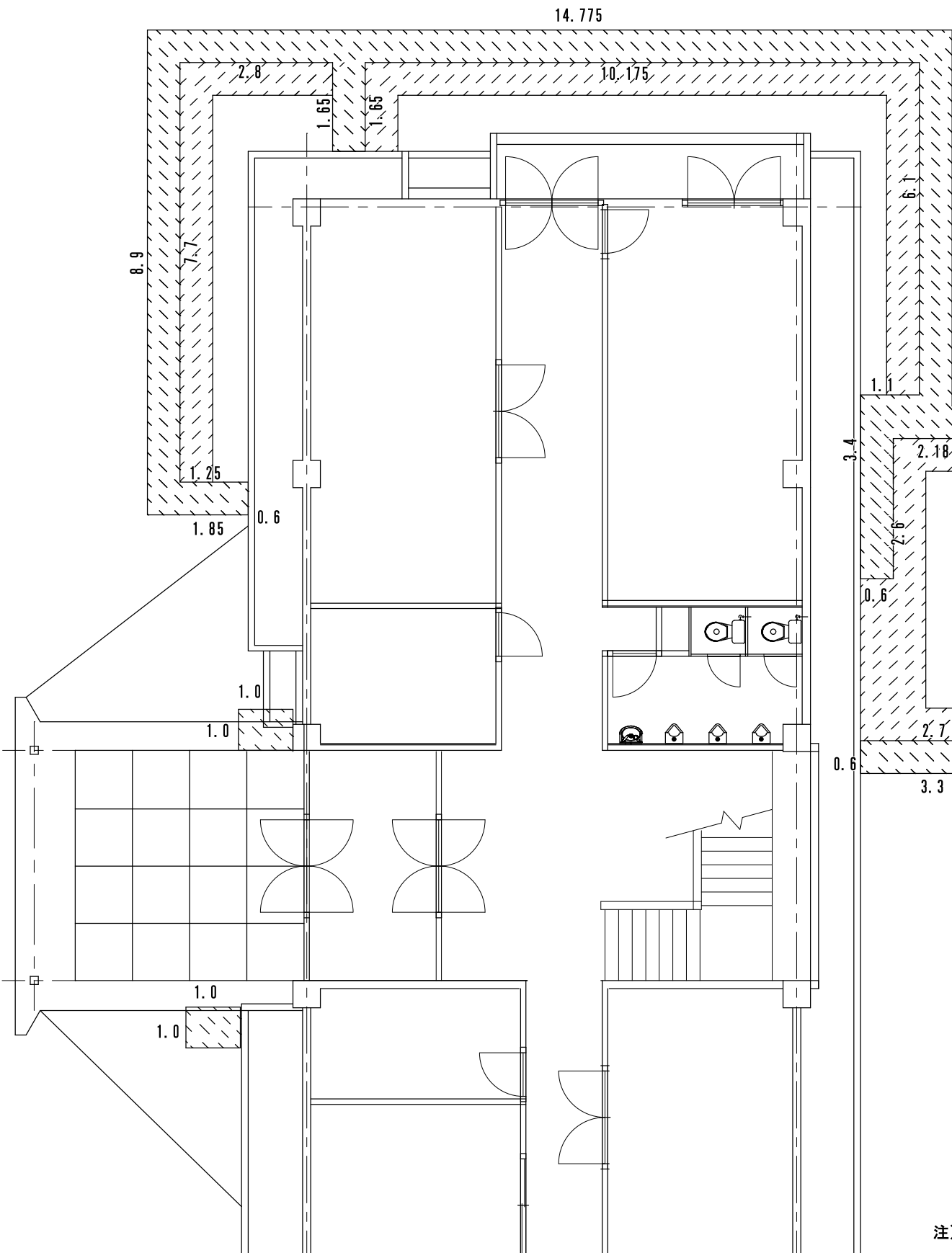
凡 例				
記 号	名 称	仕 様	規 格	備 考
給水管 (屋外埋設)	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	JIS K 6742	埋設深度 800H	
給水管 (屋 内)	水道用硬質塩化ビニリング鋼管	JWWA K 116	SGP-YB	
給 通 管 (送 り)	水道用耐熱性硬質塩化ビニリング鋼管	JWWA K 140	SGP-HVA	
給 通 管 (返 り)	水道用耐熱性硬質塩化ビニリング鋼管	JWWA K 140	SGP-HVA	
排 水 管 (屋 外)	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	屋外第一類以降 (V U)	
排 水 管 (屋 内)	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	屋内第一類以降 (V P)	
通 気 管	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741		
ガ ス 管	配管用炭素鋼管 (白管)			
仕 切 弁	JIS 10K			
不 凍 水 抜 栓	302L (BOX共)			
水 抜 栓	寒冷地仕様			
排水栓	寒冷地仕様——自動排水付——(BOX共)			
ガス栓、ガスコック				
床 上 掃 除 口	COA			
通 気 金 物	VE			
塩ビ製小口径汚水栓	主管径 φ100 側径 φ150			
ド レ ン 管	硬質塩化ビニル管			
冷 媒 管	断熱装設鋼管			
矩 形 ダ ク ト	亜鉛鉄板 (断熱装設ダクトは20.8t)			
丸 ダ ク ト	スパイラルダクト (断熱、多量断熱はV Pダクト)			



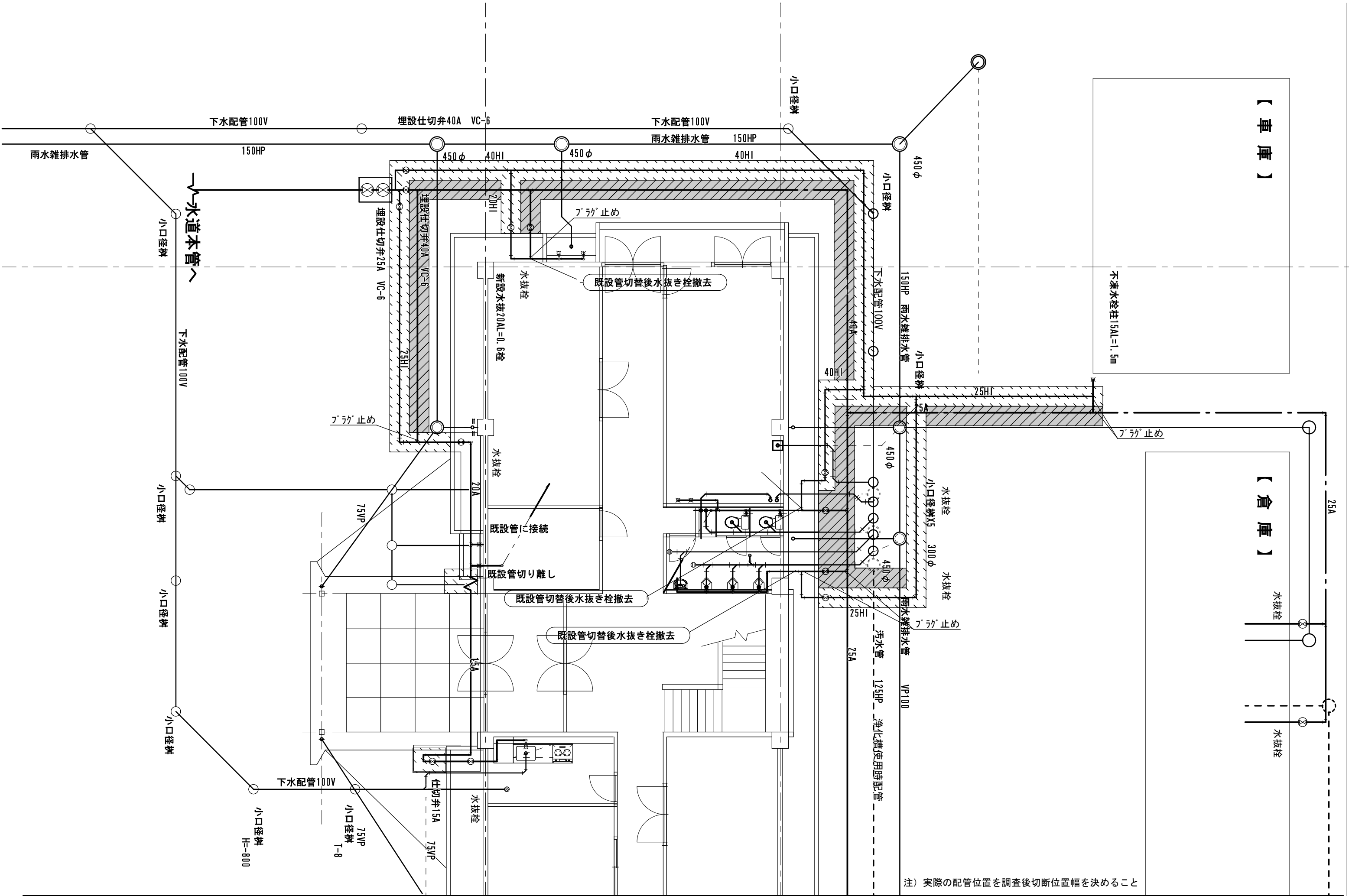
TITLE 南信森林管理署庁舎給水管盛替え工事 DATE2026.7.31	ITEM 給水管 詳細図	SCALE A1:1/200 A3:1/100	南信森林管理署	CHECK DRAWING 一級建築士事務所登録（伊那）E第44144号 一級建築士 大臣登録 第284021号 清水 宗治	SEET NO. M - 0 5
--	------------------------------------	---	--------------------	--	--

【車庫】

【倉庫】



注) 実際の配管を、調査後切断位置幅を、決めること



TITLE 南信森林管理署庁舎給水管盛替え工事 DATE 2026. 7. 31	ITEM 既存給水配管 撤去図	SCALE A1:1/200 A3:1/100	南 信 森 林 管 理 署	CHECK DRAWING 一級建築士事務所登録 (伊那) E第44144号 一級建築士 大臣登録 第284021号 清水 宗治	SEET NO. M - 0 7
---	---------------------------------------	---	--------------------------	--	--